

単元名 図を使って考えよう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 線分図を使って、全体を1としたときの割合の意味を理解することができる。
 (2) 全体を1としたとき、線分図を使ってそれぞれの部分が割合でどのように表されているかを考えることができる。
 (3) 全体を1として考えるよさが分かり、それをうまいようにする。

標準的な展開例

06040302_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 全体を1として、部分の割合の和を考えて問題を解決する。[p. 198・p. 199]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 図にかいて、問題を整理して考えよう。 ○ 全体を1として、部分と部分の割合の和を考えて問題を解決する。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>2 全体を1として、部分の割合を考えて問題を解決する。[p. 200・p. 201]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 全体を1として、割合を使って考えよう。 ○ 全体を1として、部分の割合を考えて問題を解決する。 ○ 「練習問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 線分図などをかく活動を通して、割合の和を求めるとよいことに気付かせる。 ・ 必要に応じて、単位をそろえるように助言するとよい。 【評】全体を1と考え、割合の和を考えて問題を解決する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 線分図などをかかせる活動により、視覚的に捉えさせる。 【評】全体を1と考え、部分の割合を考えて問題を解決する活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

児童は、第3学年と第4学年で整数を用いた割合、第5学年で小数を用いた割合を学習している。本学年で分数を用いた割合を学習する。本単元では、全体を1として部分の割合を考えたり、部分と部分の和や積を考えたりして問題を解決することを学習する。多くの児童にとって理解するのが難しい単元であるが、その困難さを和らげる単元構成や授業展開を工夫する必要がある。

問題は、できる限り全体の量を具体的に示さないようにしてある。これは、全体の量を示してしまうと、全体の量を1とする考えが児童からでにくかったり、児童が混乱したりする可能性が高いからである。線分図や関係図、面積図などを取り入れ、児童が常に全体を1と意識でき、考えやすいように工夫するとよい。